

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

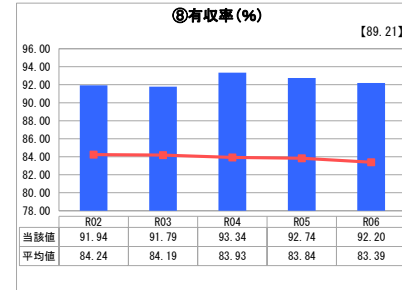
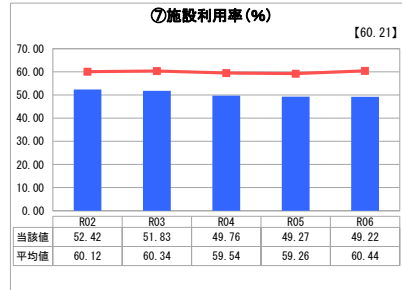
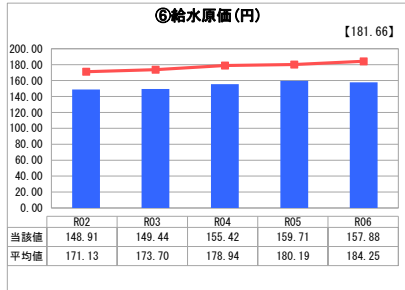
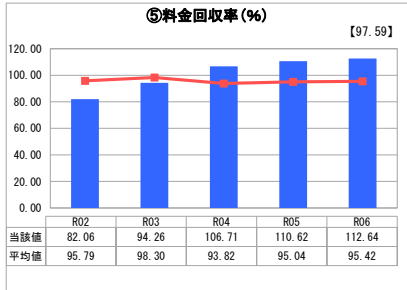
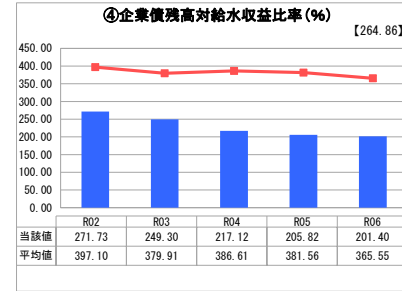
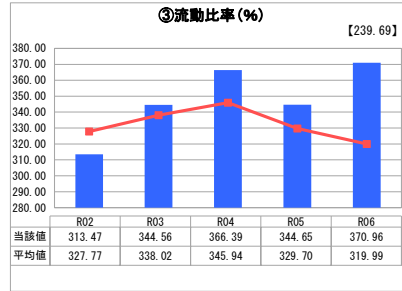
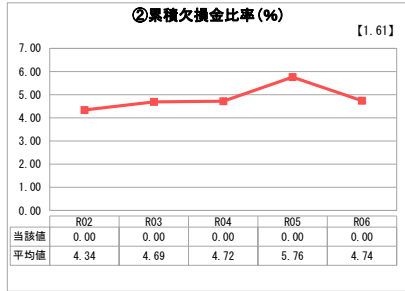
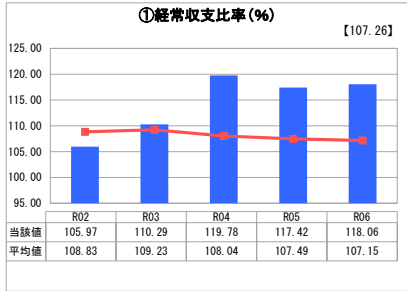
埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり客産料金(円)	
-	81.44	99.87	2,593	

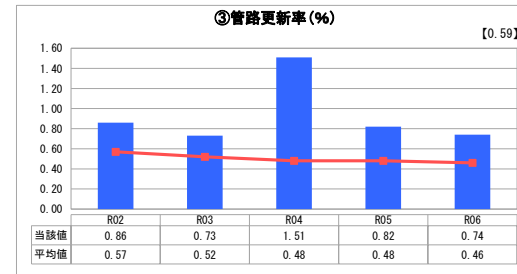
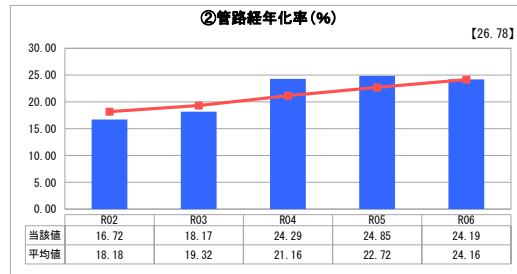
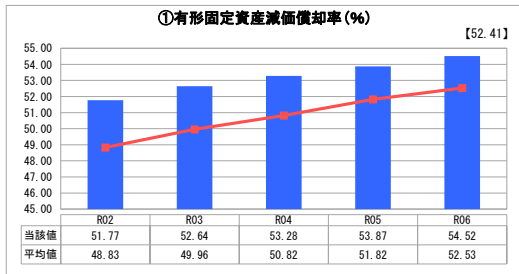
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,043	34.07	940.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,823	24.20	1,315.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
100%を超えており、単年度収支が黒字であることを示している。
- ②流動比率  
類似団体の平均を超えており、また、100%を大きく超えているが、今後の給水収益の減少を踏まえると、引き続き経営努力が必要である。
- ③企業債残高対給水収益比率  
類似団体等比較しても低くなっており、また、給水収益が減少しているなか、企業債残高対比率も下がってきている。今後も適正な借入額を検討していく。
- ④料金回収率  
令和3年10月の料金改定以降、類似団体及び100%を超える状況が維持されている。
- ⑤給水原価  
類似団体平均より低く抑えられている。また、前年度より下降している。今後も経費削減など経営努力に努める。
- ⑥施設利用率  
類似団体及び50%を下回っている。今後の水需要を踏まえ、施設のダウンサイジング等を検討していく必要がある。
- ⑦有収率  
類似団体の平均は上回っているが、前年度と比較して下降してしまっている。効率的な管路更新を進める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
年々上昇傾向にあり、類似団体の平均も上回っている。施設・管路など老朽化が進んでいるため、今後も計画的な更新を進めていく必要がある。
- ②管路経年化率  
若干の改善が見られ、類似団体の平均とも同等となったが、更新時期を迎えた管路は多くあるため、計画的かつ効率的な更新に取り組む必要がある。
- ③管路更新率  
類似団体の平均は超えているものの、耐用年数での更新に間に合わない更新率となっている。今後更新率を上げていく必要がある。

### 全体総括

経営の健全性については、令和3年10月に行った料金改定により、財政面については改善して以降横ばいとなっている。施設面については、老朽化が進んでおり、年々悪化している状況である。今後水需要の減少が予想されているので、経営の健全性をこのまま維持することは難しい。施設更新時には、ダウンサイジングなどを検討し、将来の水需要に合った施設規模を検討していく必要がある。また、施設・管路の計画的な更新や、長寿命化などの効率化に努める必要がある。今後は広域化も含め事務の更なる見直しや、合理化を進めていく必要がある。